

PG A-6 【実践報告】

秋田県の取り組みについて



社会福祉法人 水交会
大仙市基幹相談支援センターかのん
室長／主任相談支援専門員 安藤拓哉

●秋田県の総人口:884,877人

(男418,514人 女466,363人)※令和7年4月1日現在

ここ1年で17,183人(前年同月比1.90%)の減

○大仙市の状況(令和7年3月31日現在)

総人口 73,217人(男:34,483人、女38,734人)

障害者数 5,342人→総人口のうち約7.3%

(身体:3,955人 知的:719人 精神:668人)

相談支援事業所数:8事業所

相談支援専門員数:14人(うち主任相談支援専門員3名)



まるびちゃん

相談支援従事者現任研修2日目(演習1日目)の工夫について

【演習統括・講師事前打ち合わせ】

【受講決定者】



研修事務局に
選定事例の
概要(年齢、障がい種別、
福祉サービス等の状況
など)を報告

※受講決定後の受講料振り込み期間(2週間)の
間に研修事務局へ事例概要を報告



【研修】



打ち合わせ内容と
セルフチェックリストを
活用して意思決定に
着目した演習にする

※演習中の事例への質問の際にセルフチェッ
クリストを活用するよう助言



法定研修全体のつながりを意識した取り組みについて

【令和6年度ファシリテーターフォローアップ研修】

アセスメント
(初任者研修)

多職種連携
地域づくり
(現任研修)

それぞれのつながりとなる
意思決定支援をテーマに
研修を開催

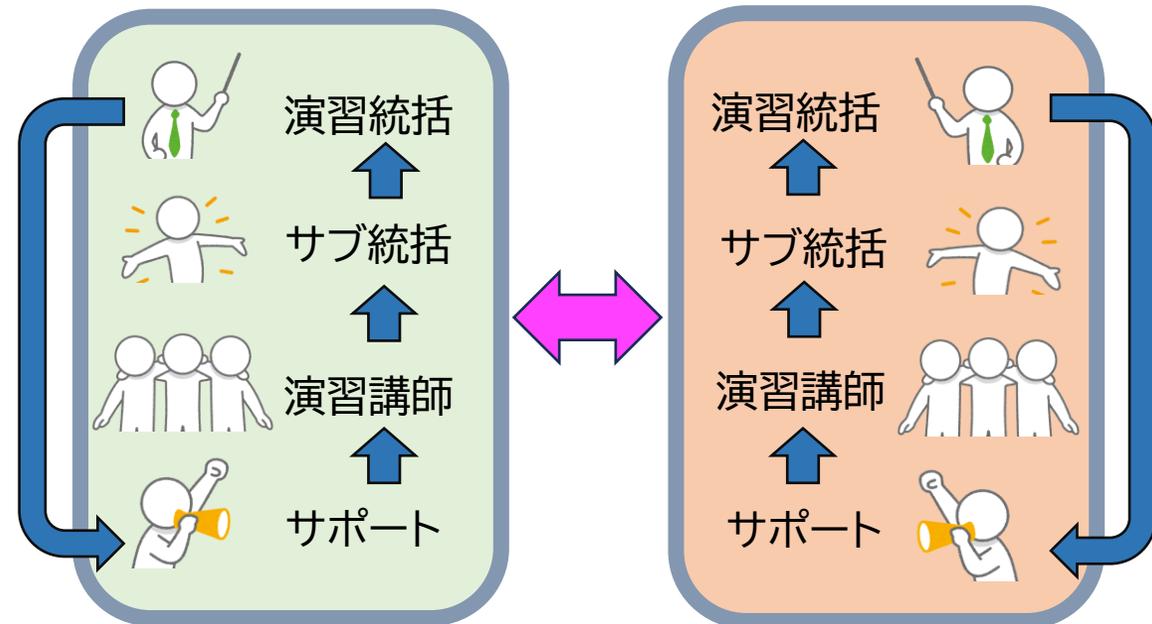


毎回テーマを変えながら、初任研と
現任研の演習統括、講師が参加して
勉強会を開催

【演習統括・演習講師のローテーション】

【初任者研修】

【現任研修】



ローテーションにより演習講師の
熟達化をサポートしながら研修の
つながりを深めていく

【取り組みの中で大事にしていること】

『アセスメント⇒意思決定支援⇒多職種連携⇒地域づくり』の流れ

※主任研修は青森・岩手・山形・
秋田の輪番開催のため省略

気を付けていることやこれからがんばりたいこと

- ♪ 研修づくりは「まずやってみよう」のスタンスを大事に
- ♪ 受講者が「自分の考えをかたちに」できるよう演習づくりを心がける
- ♪ 相談支援従事者指導者養成研修の内容は研修づくりのチームで共有



- ♪ 専門コース別研修はまだ実施していないので検討を続けていく
- ♪ 指導者養成研修(アクションプラン)⇒自県での共有⇒実施⇒振り返り

